



全国「みどりの愛護」の集い

山口県 維新百年記念公園で開催

春の褒章・叙勳

式典では、冬柴鐵三國交通大臣が、「今回の集いをきっかけに緑化運動の輪がさらに広がることを期待したい」とあいさつ。

当協会から4氏が受賞

また、叙勲は、旭日双光
章を鈴木一松氏（71）（株）
みやした園芸社長・神奈
川県横浜市）、松本孔志氏
(73)（安行造園（株）社長・埼
玉県川口市）、がそれぞれ
受章された。

平成20年度全国都市公園・緑化・

緑地保全 主管課長会議を開催

ト」として、新規事項であ
る①「国営飛鳥・平成宮跡

造園CPD会員の募集開始

造園技術者の能力向上と客観的評価の指標となる「造園CPD(継続教育)制度」の会員募集が始まりました。
日造協を通して入会を希望される方は、ホームページの案内に従いお申込み下さい。

申込期間は平成20年5月19日(月)～6月6日(金)まで

お知らせ

平成 20 年度 通常総会

平成 20 年度

通常総会

6月24日(火)

14:00 ~

ルポール麹町

東京都千代田区平河町 2

☎ 03-3265-5361

長会議を東京・千代田区ケ関の中央合同庁舎第3号館で開催し、都道府県、政令市をはじめ、各地方整備局、関係団体など約160人が参加した。

会議は、平成20年度都市公園事業等予算概要とその執行を中心に進められ、「緑とオープンスペースの総合的・計画的確保」を図るため、①安全・安心な都市形成への対応②地球環境問題等への対応③豊かな地域づくりへの対応④参画社会への対応を重点に推進する「平成20年度予算のボイン

着手②歴史・文化資産を保全活用したまちづくりを推進するための都市公園事業の拡充③省CO₂型都市の実現のための緑地環境整備総合支援事業の拡充④地震に強い都市づくりのための防災公園の整備推進⑤都市公園バリアフリー化緊急支援事業の創設についての説明に加えて、国営公園の入園料に係る制度の充実等について解説するなど、さまざまな都市公園・緑化・緑地保全事業についての説明が行われた。

【解説】建設業法施行規則等の改正の概要 経営事項審査などについて

今年4月1日に建設業法施行規則の一部を改正する省令が施行され、経営事項審査についても見直された。本号では、新たな経営事項審査について紹介する。

経営事項審査は、公共工事の発注における企業評価の共通のものとしており、企業経営への影響も大きいため、社会情勢が変化する中で適正を欠くことのないよう適時の見直しが必要とされている。

こうしたことから、中央

建設業審議会ワーキンググループ経営事項審査改正専門部会で、公正かつ実態に即した評価基準となり、さらに、生産性の向上や経営効率化に向けた企業の努力を評価・後押しするものとなるよう見直しが行われるなど、建設業を取り巻く環境が大きく変わる中

で、企業評価においても、

今回の改正は、今後、建設市場の量的な拡大が望めないなど、建設業を取り巻く環境が大きく変わる中

量的な側面だけでなく、質的側面を重視する観点から、企業規模(X)の見直しも行われた。

自己資本額(X2)は、

従来の自己資本額を完成工事

高で除した値、職員数を完

成工事高で除した値を廃止。

新たに利益額と自己資本額を評点化し、合わせて

経営状況評価(Y)は、

企業実態を的確に反映する

ため、評点分布と評点項目

に、これまでの12指標を見直した。

これにより、新たに純支

利回り率、負債回転期間、

売上高経常利益率、総資本

を全面的に見直し、実力に見合わない高得点などが得られないように見直した。

また、固定資産などの特定の指標に偏らないよう

に、これまでの12指標を見直した。

これをより、新たに純支

利回り率、負債回転期間、

売上高経常利益率、総資本

を全面的に見直し、実力に

見合わない高得点などが得られないように見直した。

また、固定資産などの特

定の指標に偏らないよう

に、これまでの12指標を見直した。

当社では、長年に渡つて造園・エクステリア業者様向けの設計・提案用3次元CADを提供しており、4月に最新版となる「RIKCAD Ver.4」を発売した。80社以上の建材メ

カー商品や、植栽を豊富に

搭載しており、外構から和風庭園、ランドスケープにも対応。快適な操作で正確な図面と写真品質のパース

を実現。また、東京都港区南青山2の12の14ユニマット青山ビル7階☎03・

5411・7891 Co., Ltd. を参照。

問題にも積極的に取り組んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地内のCO₂吸収量算出機能の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

んでいます。詳しくは弊社用 (<http://www.rikcad.com>) を参照。

が作成できる。また、敷地

内のCO₂吸収量算出機能

の搭載や、「CASBEE」の環

境性能評価システムにも

一部対応するなど、環境

問題にも積極的に取り組

</

【論説】

協会活動は業界の夢づくり！

1971年（昭和46年）の建設業法の改正によつて、造園工事業は独立した業種となりました。その年、社団法人日本造園建設業協会が誕生しました。

日造協は、定款の目的に「造園技術の向上、造園事業の健全な発展を図り、もつて都市環境の整備促進、都市緑化の推進等に寄与すること」を掲げ、この趣旨に賛同した発足時の会員数は、436社でした。

総・支部 だより

各総支部・支部からの記事を紹介します



製作中の作品工程（上から）①デザイン画（デザイン・小倉珠子氏）②花苗の育成の張り付け・軽量土壤の詰め込み⑤花苗（プラグ苗）の植え込み

③鉄骨フレームの製作④灌水装置の設置・カンレイシャ

技術研修会を開催 新分野の足掛かりに

東北総支部

東北総支部では、3月15日、会員を対象に技術向上、造園工事業の発展を目的に技術研修会を開催したので報告します。

研修会は、当総支部の一

大事業として毎年開催して

おり、今年は4つの講演が

行われました。

「地域性を考慮した景観

」で、地球温暖化による

温室効果ガスの吸収源とし

ての都市緑化樹木の役割、

CO₂測定などについて解

説。

構成の事例及び提案」は、

小島秀是氏（東北緑化環境

保全株式会社土木事業部主

任）が、街並みの景観と緑

のかかわりについて、道路

緑化、街路樹を中心とした

道路景観について、各県ご

と4地点を選定し、住民参

加（アンケート）により、

好ましいと思われる街路樹

望について紹介。

各講演とも、造園業の新

分野への進出の足掛かりと

えた地産地消の新産業など

の紹介を行いました。

が、家畜（ヤギ）を使った

緑化維持管理などの珍工法

から、食の安全・安心を考

えた地産地消の新産業など

の紹介を行いました。